

実 施 記 録



1. 日 時 : 平成27年6月27日(土) 13:30~14:20
2. 学 級 : 1学年32名(男子14名, 女子18名)
3. 授業者 : 吉田 修久 先生(広島市立瀬野川中学校)
4. 教 材 : フェルミ推定~広島市のお好み焼き屋の軒数
5. 本時の目標 興味をもって, 合理的かつ論理的に考えることができる。

学習過程	学習活動	指導上の留意点(◆評価)
導入 10分	「この1週間でお好み焼きを食べた人？」	
	「広島市に何軒のお好み焼き屋さんがあるか, 予測しよう。」	
	○予想する ・ググる ・区ごと	◇何軒あると思いますか。(予想を黒板に書いておく) ◇それはどうやったらわかりますか。
展開 25分	○お好み焼きの軒数を予測する。 ○グループで相談する。 ○ボードに考えをまとめる。	☆広島市の人口, 観光客数, お好み焼き屋の1日の来客数を全体で確認する。 ☆お好み焼きの軒数を個人で予測させる。 ※電卓を配る。 ☆机間支援でつぶやきながら他のグループへヒントを言う。 例 ・1日にお好み焼きを食べる人の数が計算できるね。 ・お好み焼き屋も定休日はあるだろうね。 ☆グループで話し合ったことをボードに書かせ, 黒板に貼らせる。 ※どこのグループのボードかわかるように配置する。
発表 10分	○考えを発表する。 ○聞くことをあらかじめ相談する。	☆「考えを言う人(2名)」と「考えを聞く人(2名)」に分かれて, それぞれのグループの考えを聞きに行かせる。 ☆聞く人に, 聞くポイントをおさえさせる。 ポイント① 結論 ポイント② 結論までの経緯 ◆他のグループの考えに共感し, 興味をもって考えようとしている。[関心・意欲・態度]
まとめ 5分	○ワークシートに記入する。	☆他のグループの考えを聞き, 自分のグループで再考し, ワークシートを修正させる。 ◆合理性のある数値や解き方を論理的に考えることができる。[数学的な見方や考え方] ☆授業をまとめる。

【協議会】(14:30~16:45)

1. あいさつ 2. 授業者から
3. グループ協議 進行: 岡寺裕史指導主事(廿日市市教育委員会) 田頭かおり指導教諭(広島市立観音中学校)
原田康宏主幹(広島市立五日市観音中学校) 広中康雄教諭(広島市立五日市南中学校)
4. 講 話「統計指導の必要性・重要性 - 統計データを用いた授業づくり -」
静岡大学 柘元 新一郎 教授
5. おわりに / 諸連絡(東雲中学校:天野, 河寄)

【参加者(敬称略)33名】

柘元 新一郎(静岡大学教授)

岡寺 裕史(廿日市市教育委員会) 濱本 英一(広島市教育委員会)

山本 光信(広島大学附属東雲小学校長) 石角 剛(呉市立郷原中学校長)

三浦 義之(広島市立国泰寺中学校長) 家本 一郎(広島市立安西中学校長)

玉木 雅人(広島市立井口台中学校長) 甲斐 章義(附属福山)

原田 康宏(広島市立五日市観音中学校主幹) 田頭 かおり(広島市立観音中学校指導教諭)

奥田 努(尾道市立久保中学校) 小林 奏美(廿日市市立吉和中学校) 川崎 貴子(東広島市立八本松中学校)

出張 幸雄(東広島市立八本松中学校) 丸山 由紀子(東広島市立八本松中学校) 伊藤 宗憲(呉市立郷原中学校)

川口 あけみ(広島市立美鈴が丘中学校) 広中 康雄(広島市立五日市南中学校) 河内 美保(広島市立翠町中学校)

林 由梨(広島市立宇品中学校) 吉田 修久(広島市立瀬野川中学校) 道閑 由紀子(広島市立美鈴が丘中学校)

瀬川 哲史(広島市立祇園中学校) 森田 庸子(広島市立安西中学校) ほかに院生・起虎会4名・本校職員4名